

給与支払報告書の書き方

1人につき、1枚の提出です。

7 給与を受ける者	※ 区分		(受給者番号)																			
	住所	桐生市織姫町1番1号	(個人番号)	123456789012																		
7 個人別明細	種別		総与所得控除後の金額 (調整控除後)	所得控除の額の合計額	源泉徴収税額																	
	給与・賞与	6,000,000	4,260,000	2,972,289	16,800																	
7 個人別明細	3 (源泉)控除対象配偶者の有無	4 配偶者(特別)控除の額	5 控除対象扶養親族の数 (配偶者を除く。)		6 障害者の数 (本人を除く。)																	
			特定	老人	その他	16歳未満親族の数	特別	その他	非居住者である													
7 個人別明細	有	従有	千円	人	従人	人	人	人	人	人												
	○		380,000	1	2	2	4	1		1												
7 個人別明細	社会保険料等の金額		生命保険料の控除額	地震保険料の控除額	住宅借入金等特別控除の額																	
	567,000	120,000	40,000	16,800																		
(摘要) 普通徴収D (R7.3.31退職予定)																						
前職：(株)織姫△△ 桐生市織姫町△番地 退職日：R6.3.31 源泉徴収時所得税減税控除済額 ×××円 給与支払額1,200,000円 社会保険料98,000円 源泉徴収税額23,000円 控除外額 ×××円																						
8	生命保険料の内訳	新生命保険料の金額	円	60,000	円	旧生命保険料の金額	円	70,000	円	介護医療保険料の金額	円	80,000	円	新個人年金保険料の金額	円	90,000	円	旧個人年金保険料の金額	円	100,000		
	住宅借入金等特別控除の内訳	住宅借入金等特別控除適用日(1回目)	年	12	月	12	日	住宅借入金等特別控除区分(1回目)	住(特)	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	年	12	月	12	日	住宅借入金等特別控除区分(2回目)	年	12	月	12	日	
10	源泉・特別控除対象配偶者	(フリガナ) キリュウ ハルコ	氏名	桐生 春子	区分	配偶者の合計所得	100,000	円	国民年金保険料等の金額	円	国民年金保険料の金額	円	国民年金保険料の金額	円	国民年金保険料の金額	円	国民年金保険料の金額	円	国民年金保険料の金額	円	国民年金保険料の金額	円
		個人番号	234567890123	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額	円	源泉控除額
11	16歳未満の扶養親族	(フリガナ) キリュウ イチロウ	氏名	桐生 一郎	区分	16歳未満の扶養親族	(フリガナ) キリュウ ナツコ	氏名	桐生 夏子	区分												
		個人番号	345678901234	個人番号	678901234567																	
		(フリガナ) キリュウ ジロウ	氏名	桐生 次郎	区分		(フリガナ)	氏名		区分												
		個人番号	456789012345	個人番号																		
12	16歳未満の扶養親族	(フリガナ)	氏名		区分	16歳未満の扶養親族	(フリガナ)	氏名		区分												
		個人番号		個人番号																		
		(フリガナ)	氏名		区分		(フリガナ)	氏名		区分												
		個人番号		個人番号																		
12	中途就・退職		受給者生年月日																			
	就職	退職	年	月	日	元号	年	月	日													
12	個人番号又は法人番号	9876543210123	(右詰で記載してください)																			
	住所(居所)又は所在地	桐生市××町×丁目×番																				
12	氏名又は名称	株式会社○○○○	(電話) 0277-XX-XXXX																			

①支払を受ける者

【住所】欄 令和7年1月1日現在の住所を記載してください。 【氏名】欄 必ずフリガナも記載してください。
【個人番号】欄 受給者のマイナンバーを記載してください。

②給与所得控除後の金額(調整控除後)／⑨所得金額調整控除額

所得金額調整控除の適用がある場合は、控除した後の金額を②の欄、控除した額を⑨の欄に記載してください。

③(源泉)控除対象配偶者の有無

【有】欄 年末調整を受け、控除対象配偶者(※1)を有しているとき又は年末調整の適用を受けていない場合で源泉控除対象配偶者(※2)を有しているときに○を付してください。

【老人】欄 上記のいずれかの配偶者を有し、配偶者が昭和30年1月1日以前生まれの場合は、○を付してください。

控除対象配偶者(※1)…同一生計配偶者のうち、合計所得金額が1,000万円以下の受給者の配偶者

源泉控除対象配偶者(※2)…受給者(合計所得金額が900万円以下の方)と生計を一にする配偶者で、合計所得金額が95万円以下の方。

④控除対象扶養親族の数(配偶者を除く。)

【特定】欄 19歳以上23歳未満(平成14年1月2日～平成18年1月1日生まれ)の扶養親族がいる場合に記載してください。

【老人】欄 70歳以上(昭和30年1月1日以前生まれ)の扶養親族がいる場合に記載してください。そのうち、受給者又は受給者の配偶者の直系尊属で同居している場合は、左の「内」欄にその数を記載してください。

⑤16歳未満扶養親族の数

扶養親族のうち、16歳未満(平成21年1月2日以降生まれ)の数を記載してください。

⑥非居住者である親族の数

③～④のうち、非居住者(※3)がいる場合及び⑤のうち、国内住所を有しない方がいる場合、その数を記載してください。
非居住者(※3)…居住者(国内に住所を有し又は現在まで引き続いて1年以上居住をしている人)以外の個人

⑦摘要

【租税条約に関する記載】 課税の免除を受ける場合は、免除対象額と該当する条項を記載してください。

【青色専従者に関する記載】 青色専従者に該当する場合は、「青専」と記載してください。

【中途就職者の前職分の記載】 前職分の給与等を通算して年末調整した場合、前職分の支払者名称、所在地、退職年月日、給与支払額、源泉徴収額、社会保険料の金額を記載してください。

【退職所得のある配偶者又は扶養親族の記載】 退職所得の支払を受けた該当者がいる場合は、「(退)氏名」と記載してください。

【特別徴収ができない理由の記載】 理由区分(普A～普F)は裏面で確認し、記入してください。

【定額減税に関する記載について】 裏面の記入例を参考にしてください。

源泉徴収時所得税減税控除済額、控除外額(控除しきれなかった金額がない場合は「控除外額0円」)を記載してください。非控除対象配偶者分の定額減税の適用を受けた場合は、「非控除対象配偶者減税有」、同一生計配偶者が(特)障害者又は同居特別障害者に該当する場合は、「減税有 氏名(同配)」の追記をしてください。

⑧住宅借入金等特別控除

住宅借入金等の借換えをした場合、借入金年末残高の計算方法を国税庁のホームページで確認してください。

⑩(源泉・特別)控除対象配偶者・控除対象扶養親族／⑪16歳未満の扶養親族

氏名、フリガナ、マイナンバーを記載してください。区分欄は以下の表示をしてください。

控除対象扶養親族の区分	記載方法
居住者	空欄
非居住者(30歳未満又は70歳以上)	01
非居住者(30歳以上又は70歳未満、留学生)	02
非居住者(30歳以上又は70歳未満、障害者)	03
非居住者(30歳以上又は70歳未満、38万円以上送金)	04

控除対象配偶者、16歳未満の扶養親族が国内に住所を有していない方である場合は、区分欄に○を付してください。

掲載していない項目については国税庁HP

「令和6年給与所得の源泉徴収票等の法定調書の作成と提出の手引」を参考にしてください。

⑫未成年者から勤労学生までの各欄

受給者が該当する事項がある場合に○を付してください。